

市政トピックス

現代社会の発展と多様化する地域課題の解決を目的に、市と松本大学・松本大学松商短期大学部（菅谷昭学長）が包括連携協定を結びました。市役所で調印式が8月26日に開かれ、宮澤市長と菅谷学長が協定書にサインしました。

同大学とはこれまでも自治基本条例の制定や自転車を活用したまちづくり実証実験などで連携してきましたが、この協定によって協力体制がより強化されます。市が大学と同協定を結ぶのは、平成29年3月の信州大学以来2例目で、健康づくりや地域産業・観光、教育・人材育成などさまざまな分野で連携していきます。



協定書に調印した宮澤市長と菅谷学長

■松本大学・松本大学松商短期大学部と包括連携協定を締結

記録的な大雨に見舞われた8月14日、明科地域の一部で土砂災害などの災害が発生する危険が高まり、災害時に市が発令する警戒レベルで最も高い「緊急安全確保」を発令しました。

犀川では氾濫危険水位を超え、消防団員らが内水氾濫した水路の排水や土のう積み作業に追われました。「緊急安全確保」が発令されたのは本年5月の災害情報で、基準改正以降初めて。市では災害対策本部を設置し、5つの公民館で避難所を開設したほか、感染防止のため避難対象区域外の親族宅等に避難するよう呼び掛けました。

避難所は18日午前中まで開設。市内では、倒木や林道の崩落などの被害が発生しましたが、幸いにも負傷者は報告されませんでした。



崩落した林道長峰線



災害対策本部の様子

■警戒レベル5「緊急安全確保」発令

市政トピックス



最終日にスタッフで記念撮影



ありがとう穂高プール

8/22 市営穂高プール 33年の歴史に幕

平成元年から多くの皆さんに親しまれてきた穂高プールが、8月22日に最後の営業日を迎え、曇り空から時々晴れ間がのぞく天気の中、約200人の来場者が遊泳を楽しみました。これまで7年間にわたり監視員を続けた木鋪哲さん（穂高有明）は、「安曇野の自然の中、太陽の日差しを浴びながら泳げる良いプール。毎年来てくれるお客さんとの再会や子ども達の成長が実感できることが、夏の楽しみだった。皆さんに感謝している」と閉場への想いを話してくれました。今期は新型コロナの感染防止策を講じ、入場制限も実施しながらの営業となり、延べ6,053人が訪れました。

パラリンピックの炎が庁舎へ

8/13 長野県聖火フェスティバル「聖火ビジット」

8月24日に開会式を迎えた東京2020パラリンピック。大会を照らし続ける聖火は、47都道府県から集められた炎とイギリスのストーク・マンデビルで採火した炎が、開催地東京で一つとなり生み出されます。

市では、8月13日に市庁舎で炎を灯したランタンの展示を行う「聖火ビジット」が実施されました。当日は、新型コロナ感染拡大防止のため式典が中止となり、ランタンの展示のみ行われました。炎は、人々がパラリンピックを応援する熱意の表れとされています。見学に訪れた、パラスポーツ選手の山内美月さんは、「一生懸命応援したい」と安曇野からエールを送りました。



全国で活躍した安曇野の若人

8/13 全国大会入賞報告、表彰状を贈呈

全国大会で優秀な成績を収めた市内の小中学生と高校生が、大会の結果報告のために市役所を訪れ、大会出場の感想や今後の意気込みを語りました。子どもたちの報告を受けた宮澤市長は、「狭き門への出場を果たし、本番で実力を発揮されて見事結果を残されたことは大変誇らしい。今後も技術を磨き、更なる高みを目指してほしい」と激励しました。

◆第14回書道パフォーマンス甲子園

優勝 松本蟻ヶ崎高校書道部

◆第12回全日本ジュニアピアノコンクール

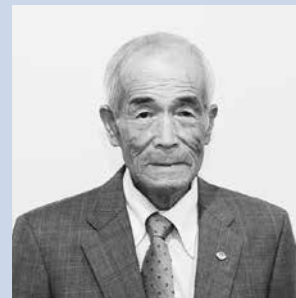
岡江満枝音楽教室 ▶山本大樹・山本愛（連弾親子デュオ銀賞）、大月怜愛・丸山凜（連弾子どもデュオ銅賞）、高橋知暉（入賞）〈氏名は敬称略〉



健康長寿 インタビュー

仲間と笑い、語り、交流を

「仲間と笑い合うことが健康につながっています」。そう話すのは、県シニア連会長の藤岡さん。老人クラブは本年4月、シニアクラブに名称変更し、藤岡さんは会長として活躍されています。シニアクラブは、花壇づくりなどの社会活動やマレットゴルフなど趣味の活動を通じて、高齢者の仲間づくりを進めています。新型コロナの影響から人との交流が減ることが危惧されていますが、「一人で家にも、仲間を作ることは簡単ではないと思います。活動はみんなが安全に楽しめることが中心。生涯にわたり、自分らしく、安心して暮らしていける場をみんなの手で作れば」と参加を呼び掛けています。



県シニア連会長
藤岡 嘉（よみす）さん
（86歳・三郷明盛）